

適性検査Ⅰ 出題のねらい（平成26年2月3日実施）

問1 神奈川県庁前の「日本大通り」を題材に、資料から日本大通りの様子や歴史的背景などを読み取ることを通して、主に表現コミュニケーション力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 日本大通りを、地図上の指示された部分を歩いたときの速さと時間から、地図の縮尺を求める。
- (2) 日本大通りが造られた目的を、資料や図に示された情報から読み取り、文章で表現する。

問2 図画工作の授業において、ポスターの掲示方法や立体的なカードの型紙の作り方を考えることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 2種類の長方形のポスターを、条件に従って最も多く掲示する方法を考え、その枚数を答える。
- (2) 立体的なカードの形状を読み取り、その型紙に必要な線をかく。

問3 農作物についての表、グラフ、会話文の内容を適切に読み取ることを通して、主に表現コミュニケーション力や科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 表と会話文から、必要な情報を読み取り、米の収穫量が多い上位5位までの都道府県の作付面積1haあたりの収穫量の順位を求める。
- (2) 会話文とグラフから、必要な情報を読み取り、その情報を総合的に活用し、グラフ中の国名を答える。

問4 遠足で見かけた道路標識を題材に、身近なものから思考を発展させることを通して、主に科学・論理的思考力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 図と会話文から、道路標識の意味を理解して、道路のカーブの曲線の度合いと、坂道の高さの割合を答える。
- (2) ア バスが走った道路を円の円周に置き換えて考え、バスの走った距離に相当する円周部分の、円弧に対する中心角を求める。
イ 資料の情報を読み取り、バスの速さとバスの走った時間の関係をグラフで表現する。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（平成26年2月3日実施）

- 問1** アサガオの開花に関する実験結果を分析し、結果を適切にとらえることを通して、主に科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。
- (1) 実験結果から、アサガオの花芽ができる条件を答える。
 - (2) 実験結果から、アサガオの開花と光の関わりを見だし、特定の時刻に開花させる条件を読み取って、その開花時刻を答える。
- 問2** カレンダーを話題にした会話文を題材に、日付の数に着目して考えることを通して、主に社会生活実践力や科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。
- (1) カレンダーをもとにして、指定された日の曜日や月日を答える。
 - (2) カレンダーの日付の数のまとまりに着目し、その規則性を見つけ、条件にあてはまる数の組み合わせを答える。
- 問3** 公園で見た標示板の影やシーソーを題材に、影の形やシーソーのつり合い、家までの道順を考えることを通して、主に科学・論理的思考力や社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。
- (1) ア 標示板とその影の形から、太陽の方位と、影を見ていた方位を答える。
イ てこの規則性を利用して、シーソーがつり合う条件を考え、座ったいすを答える。
 - (2) 条件に従って、公園から帰る道順が何通りあるかを求める。
- 問4** 道路と社会との関わりについて書かれた文章を読み取り、資料の内容をふまえて設問に即した文章をまとめることを通して、主に社会生活実践力や表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。
- (1) 資料を読み、文脈に合う一語を資料と選択肢から答える。
 - (2) 資料、表、会話文から、自転車専用通行帯が設けられた理由と、これからの道路整備についての自分の考えを文章で表現する。

グループ活動による検査 出題のねらい（平成26年2月3日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いや作業を行い、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力と中等教育学校で学ぼうとする意欲や目的意識をみることをねらいとした。

課題1 開校6年目にあたり、全ての学年の生徒がそろって県立中等教育学校で、「6つの学年の生徒が力を合わせて中等教育学校をよりよくする」という全校生徒の取り組みの場を設定する。この取り組みについて、中等教育学校に入学した1年生として、「6つの学年の生徒が力を合わせて中等教育学校をよりよくしていくために、自分自身が6年間の学校生活で心がけること」と、「6年次生の1学級と行う、校舎内での交流の具体的な活動内容」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合っ1つの案をつくる。

課題2 開校6年目にあたり、全ての学年の生徒がそろって県立中等教育学校で、「6つの学年の生徒が力を合わせて中等教育学校をよりよくする」という全校生徒の取り組みの場を設定する。この取り組みについて、中等教育学校に入学した1年生として、「6つの学年の生徒が力を合わせて中等教育学校をよりよくしていくために、自分自身が6年間の学校生活で心がけること」と、「6年次生の1学級と行う、グラウンドまたは体育館での交流の具体的な活動内容」について自分の考えをまとめ、それぞれの発表をもとにグループで話し合っ1つの案をつくる。

〈参考〉

受検者を男女別に8人程度のグループに分け、相模原中等教育学校、平塚中等教育学校ともに3回の検査を実施した。

検査	検査時間	検査課題
第1回検査	12:40～13:20	課題1
第2回検査	13:55～14:35	課題1
第3回検査	15:05～15:45	課題2